

山梨県歯科医師連盟**連盟ニュース 第50号**

□発行

山梨県歯科医師連盟 甲府市大手 1-4-1

TEL : 055-252-6481 FAX : 055-253-0854

□発行人 諸角三千夫 HP : <http://ydca.jp>

□編集人 諸角三千夫 馬場 康二

山梨県歯科医師連盟機関紙

平成28年度 時局講演会 開催

平成28年5月12日(木) 19時より山梨県歯科医師会館3階ホールにおいて、山梨県歯科医師連盟時局講演会が行われた。

【来賓紹介】 自民党山梨県支部連合会幹事長

第24回参議院議員通常選挙自民党立候補予定者

一般社団法人山梨県歯科医師会会長

一般社団法人山梨県歯科技工士会会長

一般社団法人山梨県歯科衛生士会会長

山梨県歯科衛生士連盟会長

ササキ株式会社甲府支店長

臼井 成夫 様

高野 剛 様

井出 公一 様

風間 潔 様

三枝 海枝 様

秋山 梅花 様

神谷 義雄 様

【講演Ⅰ】 講師：石井 みどり 先生 (参議院議員)**演題：『わが国の歯科保健医療政策について～H28診療報酬改定を中心に～』**

(要約) 今回の診療報酬改定は介護報酬改定があった-2.27%を上回るマイナス改定と財務省から聞かされていた。昨年大きな出来事があり、懲罰改定も有り得るとの思いもあった。国民歯科問題議員連盟という超党派でも最大の議員連盟がこれを阻止し、配分率(医科：歯科)も死守する。歯科の評価が低すぎると多くの仲間が声を上げてくれた。今回の改正では、歯科は+0.61%(177億4,000万円)の財源であり、少しでも先生方の診療が評価されれば良いと思ひ、日歯、日歯連盟とご相談しながら、私としては、文章提供に関するところで働きました。全国の多くの先生方から、あの紙出しをどうにかしてくれと言われておりました。これはなかなか厳しいものでした。『管理計画書を作成する』というところの『書』をとり、文章提供した場合は10点を加算という形にした。歯科衛生実施指導のところプラークチャートを全部削除との主張は厳しく、『プラークチャート等』とした。画像診断については、医科との関連もあり、歯科だけ削除とはならず、『診断に係る必要名所見を記載する』と形で働きかけた。今回の改定に関して、自民党の多くの議員に理解をして頂き、官邸にも理解して頂き、最低、最悪は回避できたのではないかと考えております。9年前国会へ行かせて頂いた時より、より多くの歯科の事を質問し、歯科を主張してきました。しかし、組織代表の私が、歯科のことで一生懸命訴えようと、反発や悪意に取られたりすることに気が付きました。私以外の一般の議員から歯科の評価が厳しく正当な評価を受けていないということを発言してもらおう。そういう方向に持って行くべきだという考えに変わった。大事なことは、与党の中で大きな味方ができることです。山田宏先生は、組織内候補者ではないが、歯科に理解があり、これからは我々の力になってくれると思う。また安倍総理から直接、山田宏先生をよろしく頼むと言われております。歯科の低い評価に対して共に戦ってくれる大きな味方が必要です。

【講演Ⅱ】 講師：山田 宏 先生 (前衆議院議員、前杉並区長)**演題：『口腔衛生を重視した杉並区政』**

(要約) 私は、一昨年の衆議院選挙で落選しました。その翌日安倍総理から電話で、自民党として国会に戻って来てほしい。この日本の正念場、突破口を開いてほしいとありがたいお話を頂きました。本来は全国的な団体のバックがないと公認申請ができないわけですが、総理の指名という形で決まりました。日歯連盟の高橋会長は、杉並区の歯科医師会会長も努められており、ちょうどその頃、私も杉並区長を努めていたご縁もあり、ご相談に参りました。今回は日歯連盟としては応援できない。各都道府県をまわってくれという話でした。私が杉並区長時やってきた事、これを歯科医師の先生方と一緒にできることは、私にとって願ってもない事でした。杉並区長の当時は大変な赤字財政で、特に国保が大きな赤字でした。これをなんとかしなければならぬ。皆様に健康になって頂き、医療費をかからないようにして再建するという方針を立てました。高橋会長の話を聞いて、なるほど、口の中をキレイにする、歯を丈夫にする事は健康になる秘訣なんだとわかってまいりました。香川県のデータでも、年一回歯科検診を受けた人と、受けていない人では、年間一人当たりの医療費が、受けている人の方が約10万円も安い。病気に罹りにくい。それで私はやってみようと思ひました。口が体全体に通じているということは、口の中をきれいにすれば健康になるという事を知って、高橋先生達と

(2ページ目に続く)

(1 ページ目の続き)

一緒になって検診をスタートしました。その結果、6%の受診率は17%位になり結果もついてきました。一番はっきりしたのは、杉並区立小学校44校の内7校でブラッシング指導を実施し、その翌年にインフルエンザが猛威を奮ったのですが、学級閉鎖率平均は、その7校では45%、その他の学校では79%と大きく差が出た。ブラッシング指導だけでもインフルエンザに罹りにくくなる。これは国全体でやるべきだ。罹らなくてもよい病気には罹らない、罹っても重篤にしない。これを健康政策の柱にしなければならない。これらの杉並区政を通じて実感しました。私は、歯科医師ではありませんが、歯科医師ではないからこそ歯科の重要性は体中に影響すると言える。石井先生のおっしゃっている事の客観性がさらに高まって、説得力を増すと思う。歯科医師だけではなく、違った人間が歯科の重要性を訴えることがこれからの日本の突破口につながると思う。当選したら官邸に行ってトップダウンで決めてくれという事を言うことが私の役割だと思っております。今回の突破口、健康政策は口の中から始まる。歯科界がもっと正当評価を得るよう、役割を果たしたいと思います。是非、お力をお貸し頂きたく、よろしくお願い致します。

第65回定時総会 開催

平成28年3月26日(土)山梨県歯科医師会館3階大会議室において「山梨県歯科医師連盟 第65回定時総会」が行われた。各報告(業務、庶務、会計、監査、日歯連盟)の後、議事に入り、第1号議案『平成26年度収入支出決算書(案)の承認を求める件』、第2号議案『平成28年度事業計画(案)の承認を求める件』、第3号議案『平成28年度収入支出予算(案)の承認を求める件』は全て承認された。

平成28年度山梨県歯科医師連盟事業計画

県歯連盟は日歯連盟の活動と連携しつつ県歯とも連携を密にし、県民の歯科保健の向上と経営基盤の安定を図るために次の事業を行う。

1. 医政対策：(1) 本会事業に対する支援と連携
2. 選挙対策：(1) 国政選挙に対する対応(参議院選挙に対する対応)(2) その他選挙への対応
3. 税制対策：(1) 租税措置法の存続(2) その他諸税に対する対応
4. 関連する諸事業の推進：(1) 連盟活動の再構築(2) 小冊子の活用法(3) 県歯連盟支部との連携強化(4) 知事後援会の会員の増加対策(5) 与党国会議員との交流促進(デンタルミーティング等)(6) 県議会議員との意見交換(7) 連盟ニュース、ホームページの充実(8) 連盟役員の研修と知識の向上(9) 県民の歯科保健の向上対策(10) その他必要な事業

平成28年度 役員・支部長合同会議(第1回理事会) 開催

平成28年4月9日(火)19時15分、山梨県歯科医師会館2階・第3会議室において「平成28年度役員・支部長合同会議」が開催された。冒頭、諸角会長の挨拶の中で、4月14日に発生した熊本地震で犠牲になった方々へのお悔やみと、被災した方々へのお見舞いを述べられた。連盟としても速やかに被災者への支援の協力をしていくと述べられた。

その後、各報告が行われ、日歯連盟関係報告では、日歯連盟の高橋会長から昨年の事件について御迷惑をかけていると、陳謝の言葉があった。現在、公判前手続きをして、裁判の準備をしている。また、高橋会長は定期的にマスコミに対して記者会見を行う事を考えている。

歯科医師国保については、補助率が32%から24.8%に引き下げられたが、きちっとしたエビデンスをもとに補助率を決めるべきだとの話があった。

国家試験について、合格率が63.7%に下がってしまったが、きちっと対応していく。

会員の組織率については、80.2%が80%に低下したが、80%以下になると政治力が弱くなると懸念を示していたとの、高橋会長の話の報告があった。

その後、協議に入り、1. 小冊子の発行について 2. 時局講演会について 3. その他 について話し合われた。1. について、現在連盟に関しての小冊子を作成しているが、どのような小冊子にしていくか、多くの意見が出され、多くの会員に連盟とは何かを知ってもらう為に、連盟のメリット・デメリット、歯科医師会との違い、今どんな活動をしているかなどをアピールして連盟の必要性を訴えていく内容がいいのではないかと。などの意見が出された。2. については、5月12日の時局講演会について、話し合われた。参議院議員の石井みどり先生と、自民党参議院比例代表支部長の山田宏先生にご講演頂く事が決定された。3. では、第24回参議院議員通常選挙立候補予定者である、高野剛様を理事会として推薦することと決定した。

跡部、内藤両監事の講評を頂き、初鹿副会長の辞で閉会した。